

知事コメント

令和4年9月29日(木)

沖縄県では、これまで、医療ひっ迫の解消が確実であることを確認するため、沖縄県医療非常事態宣言や沖縄県対処方針を継続し、感染状況を注視してきたところです。

9月28日現在、医療機関における病床使用率は20.9%で県の判断指標レベル2相当、重症者用病床使用率は10.4%でレベル1相当、重点医療機関における休業者数は150人台と、9月中旬頃と比較しますと、多くの指標において改善傾向が見られ、医療ひっ迫は徐々に解消されていると認識しております。

そのため、本日開催されました、新型コロナウイルス感染症対策本部会議においては、7月21日に発出した「沖縄県医療非常事態宣言」を解除すること、また、新型コロナウイルス感染症専門家会議の意見を踏まえ、沖縄県対処方針の見直しを決定しましたので、その概要をお知らせします。

今回の対処方針の変更を踏まえ、制限を一部緩和しますが、あわせて、発症予防・重症化予防のため、ワクチン接種の協力を呼びかけます。そして、今後も日頃から3密回避、換気・マスクの正しい着用・手指消毒・健康観察を習慣化して下さい。会食や友人との交流では、できるだけ大人数・長時間の集まりは控え、少しでも症状を認める際は外出を控えましょう。

会食の際には、これまでお願いしていた「4人以下、2時間以内」の要請は終了しますが、友人との交流を含め、できるだけ長時間の集まりは避けましょう。会食は、感染防止対策認証店を利用して下さい。

次にイベントについてです。従来通り、参加者が5,000人超かつ収容率50%のイベントが、感染防止安全計画の作成の対象となります。また、イベントにおいてアルコールを提供する場合、感染リスクが高くなります。主催者側は長時間の飲酒にならないよう来場者へ促すとともに、飲酒は指定された飲食エリアで行うことを徹底してください。参加者が安心してイベントに参加できるよう、感染対策に万全を期すよう、お願いします。

その他、高齢者は同居家族以外の方と会うのを控えること、日頃から高齢者と接する方は感染リスクの高い行動は控えること、また、部活動は平

日2時間程度、土日休日3時間程度をお願いしてきましたが、こうした要請については、今回終了することとします。ただし、高齢者と面会する方はマスクを着用し、手指消毒等、感染対策を行って下さい。なお、感染への不安がある場合等に利用できる無料PCR等検査は、10月以降も実施します。

今回、対処方針を見直しますが、感染対策を全て緩める訳ではありません。特にワクチン接種については、重症化や発症予防等の効果が報告されておりますので、引き続き、ワクチン接種を推進する必要があります。

現在、接種体制の整った市町村から、順次、オミクロン株対応ワクチンによる追加接種が開始されております。また、県広域ワクチン接種センターにおいては、3・4回目接種がまだで、接種券をお持ちの18歳以上の方へ接種を行っており、加えて、10月9日(日)にはイオンモール沖縄ライカムで、15日(土)にはイーアス沖縄豊崎で臨時接種会場を設け、オミクロン株対応ワクチンによる接種を行います。現在、受付を行っておりますので、詳細は沖縄県ホームページ等をご確認ください

オミクロン株対応ワクチンの副反応については、従来型ワクチンによる追加接種とおおむね同様で、現時点で重大な懸念は認められないことが、薬事承認審査で確認されております。また、効果については、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果と今後の変異株に対する有効性が期待されるとのことであります。過去2年間、いずれも年末年始に感染の波が到来したことを踏まえ、重症化予防等の観点から、対象者の方は是非、オミクロン株対応ワクチンの接種をご検討ください。

10月30日から、世界のウチナーンチュ大会が開催されますが、大会に参加する方、海外から来県される親戚、友人との交流が予定されている方は、ワクチンの免疫が作られるまで2週間程度かかることを踏まえ、10月上旬までにワクチン接種を最新の状態にするようお願いします。

インフルエンザにつきましては、今年の冬に新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されております。インフルエンザワクチンは、重症化を予防する効果がありますので、65歳以上の方等の定期接種対象者で接種を希望される方は、早めに接種をご検討ください。

なお、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルス対応ワクチンは、同時接種が可能とされておりますので、接種の際には、医療機関等へご相談ください。

国は、高齢者等重症化リスクのある方への保健医療の重点化を進め、患者の療養期間見直しを行うなど、今後、更なる感染拡大が生じたとしても、一般医療や救急医療を維持しながら、社会経済活動を維持する方針を示しています。

高齢者等重症化リスクの高い方を守り、感染防止と社会経済活動の両立を図るために、新規感染者数が減少傾向にある今の状態を維持することが重要です。県民の皆さまにおかれては、これまで身につけてきた感染対策を日頃から実践するようお願いいたします。